第一六章 善い業について

1節 善い業の定義

1-①よい業とは、神がその聖なる御言葉において命じておられるものだけである。

「主はあなたに告げられた。

人よ。何が良いことなのか。

主は何をあなたに求められているのか。

それは、ただ公義を行い、誠実を愛し、

へりくだって

あなたの神とともに歩むことではないか。」

図

ミカ書6・8

※「公義」 律法にかなった正しい行動。(脚注)

共同訳では、「公義」は正義、「誠実」は慈しみと訳されている。

「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。」 (男

ローマの信徒への手紙12・2

「イエス・キリストにより、御前で御心にかなうことを私たちのうちに行い、

あなたがたがみこころを行うことができるために、すべての良いことについて、 あなたがたを完全なものとしてくださいますように。どうか、キリストに栄光 が世々限りなくありますように。 アーメン。」 ②

ヘブル人への手紙 13・21

1-② 善い業とは、御言葉による保証なしに、人間の盲目的熱心や何らかの善意を口実にして、人間によって考え出されるようなものではない。

「彼らがわたしを拝んでも、むだなことである。

人間の教えを教えとして教えるだけである。」

〇
〇

マタイの福音書 15・9

「主は言われた。

『この民は、口でわたしに近づき

唇でわたしを敬うが

心はわたしから遠く離れている。

彼らがわたしを畏れ敬うとしても

それは人間の戒めを覚え込んだからだ。」(共)

イザヤ書 29・13

「ご承知のように、あなたがたが父祖伝来のむなしい生き方から贖い出された のは、銀や金のような朽ちる物によらず、」 ②

ペテロの手紙 第一1・18

「わたしは彼らが熱心に神に仕えていることを証ししますが、この熱心さは、 正しい認識に基づくものではありません。」 (共)

ローマの信徒への手紙 10・2

「人々はあなたがたを会堂から追放するだろう。しかも、あなたがとを殺す者 が皆、自分は神に奉仕していると考えるときが来る。」 (典)

ヨハネによる福音書 16・2

「『しかし民は、ギルガルであなたの神、主に、いけにえをささげるために、聖 絶すべき物の最上の物として、分捕り物の中から、羊と牛を取ってきたのです。』 するとサムエルは言った。

『主は主の御声に聞き従うほどに、

全焼のいけにえや、その他のいけにえを

喜ばれるだろうか。

見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、

耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。

まことに、そむくことは占いの罪、

従わないことは偶像礼拝の罪だ。

あなたが主のことばを退けたので、

主もあなたを王位から退けた。』

〇
〇

サムエル記 第一15・21-23

※善い業とは何か?ハイデルベルク信仰問答 91 間では、よき業とは何かについて次のように言っている。「ただ<u>まことの信仰</u>から、<u>神の律法</u>に従い、この方の <u>栄光のために</u>為されるものだけであって、わたしたちがよいと思うことや人間の定めに基づくものではありません。」と答えており、「これはよき業をその動機、その規準、その目的の三つの角度からとらえて定義している。」(講解) また、(註解)では、本節がローマ・カトリック批判としても、意図されているとして、次のように言う。「信仰告白は本節で、ローマ・カトリック教会が時折その民に課してきた、単に人間的なさまざまな要求を一掃することを意図している。各地への聖地への巡礼、徹夜祈祷、種々の難行苦行、修道院への寄進、数珠数え、等々といったことが、聖書的な裏付けや動機もなしに、罪を悔いている人々や、救いを勝ち取りたいと願う人々に、しばしば求められていた。イエスも、その当時のファリサイ派の人々と衝突し、彼らが一般の人たちに課していた、勝手に作り上げた善い行いの負いきれない重荷のゆえに、厳しく彼らを批判なされた(マタイ 23・4)。」(註解)

更に、(解説)では、善行に対するルター派と改革主義の違いについて、次のように言う。「ルター派が『聖書に禁じられていなければ行ってもよい』と考えるのに対して、改革派教会では『聖書に命じられていないことはいけない』と言うのである。」(解説)

1-①の命題にある「神がその聖なる御言葉において命じておられるもの」の意味は、「(聖書の中に明白に示されているもの)と、(正当で必然的な結論として聖書から引き出される)もの、の両方を含んでいます」(講解)。「かならずしも(※聖書に)明言されていないが、含まれている事柄がたくさんあるから、健全な推理をもって、原理を実際に適用することも忠実・勤勉でなくてはならない」(解説)となっている。